



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月8日

上場会社名 株式会社CFSコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8229 URL http://www.cfs-corp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 雄二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上田 晃一 TEL 045 (476) 7474
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	87,976	—	1,396	—	1,492	—	558	—
25年2月期第3四半期	81,401	3.8	233	△78.8	665	△49.4	301	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	16.10	16.08
25年2月期第3四半期	8.69	8.68

(注) 当社は平成25年2月期より決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、26年2月期第3四半期（3月1日から11月30日）と、比較対象となる平成25年2月期第3四半期（2月21日から11月20日）の期間が異なるため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	47,580	20,753	43.6	598.25
25年2月期	46,026	20,396	44.3	588.04

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 20,737百万円 25年2月期 20,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年2月期	—	4.00	—	—	—
26年2月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	—	1,800	—	1,900	—	300	—	8.65

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 平成25年2月期は12ヵ月と8日の変則決算であったため、平成26年2月期通期と比較対象期間が異なるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	34,684,678株	25年2月期	34,684,678株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	20,917株	25年2月期	20,877株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	34,663,790株	25年2月期3Q	34,663,887株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関連する事項については、添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、個人消費の改善が一部で見られるものの消費者の節約志向が続くなかで、医薬品のネット販売の本格化もあいまって異業種を含めた企業間競争が激化する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このようななかで、当社はコスト構造改革、事業構造改革による収益基盤の再構築に向けた取組を強化し、その為の4つの全員参加型のプロジェクトを推進するとともに、新たな成長の柱となる3つの店舗フォーマットの開発をスタートさせました。また、店舗では、季節や社会行事への対応を強める等、お客さまのご要望にお応え出来る売場作りの徹底を進めてまいりました。一方、店舗運営効率の改善を図る為、売上に合わせた投入労働時間の管理を実施する体制を整える等、経費のコントロール強化を図りました。

当第3四半期累計期間における売上高は、調剤部門の売上高が前年同期比18.1%増と引続き順調に推移したこともあり、前年同期に比し8.1%の伸びとなりました。売上総利益額は前年同期に比し10.1%の増加となりましたが、販売費及び一般管理費を5.2%の増加にとどめました。

店舗につきましては、第2四半期までの出店に加え、「イオンタウン名西店」(名古屋市西区)、「イオンタウン菟野店」(三重県菟野町)、また在宅調剤を専門とする「湯河原調剤薬局」(神奈川県湯河原町)をそれぞれ出店しました。これらにより、店舗数は新規出店が20店舗、閉店が3店舗となり、当第3四半期末の店舗数は319店舗、うち調剤取扱店舗は109店舗となりました。また、9月には昨年続き「ハックドラッグ健康と美の祭典inかながわ」を開催し、地域の健康ステーションとしてのドラッグストアの役割を提案し、2日間で約26,000名のお客さまのご来場をいただきました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は879億76百万円(前年同期比8.1%増)となりました。営業利益は13億96百万円(同11億63百万円の増益)、経常利益は14億92百万円(同8億27百万円の増益)、また、四半期純利益は5億58百万円(同2億57百万円の増益)となり、それぞれ大幅な改善となりました。なお、第3四半期までの経営改善の傾向は、今までの取組をさらに進めることにより、第4四半期も堅持できるものと考えております。

(注) 前期に決算日を2月20日から2月末日に変更したことにより、当第3四半期累計期間(3月1日から11月30日)と比較対象となる前第3四半期累計期間(2月21日から11月20日)では期間が異なっており、前年同期比は参考値となります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して15億54百万円増加し、475億80百万円となりました。これは、「現金及び預金」が4億40百万円減少したものの、店舗数の増加等により「有形固定資産」が11億28百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ11億97百万円増加し、268億27百万円となりました。これは、借入金総額は2億32百万円減少したものの、「賞与引当金」が3億60百万円、流動負債「その他」に含まれている未払金が2億2百万円、未払費用が1億68百万円、預り金が4億69百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して3億56百万円増加し、207億53百万円となりました。これは、「利益剰余金」が2億80百万円、「その他有価証券評価差額金」が73百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月9日に発表いたしました平成26年2月期の業績予想について変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,388	1,948
売掛金	2,464	2,609
商品	13,148	13,326
その他	5,598	6,283
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,600	24,167
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,150	14,625
減価償却累計額	△8,562	△8,924
建物(純額)	4,588	5,700
土地	3,264	3,264
その他	7,766	8,063
減価償却累計額	△4,786	△5,066
その他(純額)	2,980	2,996
有形固定資産合計	10,833	11,961
無形固定資産		
投資その他の資産	677	674
差入保証金	8,642	8,751
その他	2,401	2,154
貸倒引当金	△128	△128
投資その他の資産合計	10,915	10,777
固定資産合計	22,426	23,413
資産合計	46,026	47,580
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,238	12,423
短期借入金	1,000	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,232	1,532
未払法人税等	375	451
賞与引当金	476	837
ポイント引当金	1,308	1,296
その他	2,354	3,374
流動負債合計	18,985	21,715
固定負債		
長期借入金	3,668	2,336
資産除去債務	945	1,018
その他	2,031	1,757

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
固定負債合計	6,644	5,112
負債合計	25,629	26,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,092	7,092
資本剰余金	6,377	6,377
利益剰余金	6,893	7,173
自己株式	△13	△13
株主資本合計	20,349	20,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34	107
評価・換算差額等合計	34	107
新株予約権	13	15
純資産合計	20,396	20,753
負債純資産合計	46,026	47,580

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	81,401	87,976
売上原価	57,854	62,047
売上総利益	23,547	25,929
販売費及び一般管理費	23,314	24,532
営業利益	233	1,396
営業外収益		
受取利息	27	25
受取配当金	326	4
固定資産受贈益	88	71
その他	74	55
営業外収益合計	517	156
営業外費用		
支払利息	40	40
その他	44	19
営業外費用合計	85	60
経常利益	665	1,492
特別損失		
減損損失	116	223
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	155
その他	4	10
特別損失合計	129	389
税引前四半期純利益	535	1,102
法人税、住民税及び事業税	325	673
法人税等調整額	△90	△128
法人税等合計	234	544
四半期純利益	301	558

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。